

○チェルノブイリ救援・中部では、戸別訪問による募金活動は一切しておりません。不審なカンパ要請には充分ご注意ください。

ポレーシエ

・・・チェルノブイリに思いをよせて

チェルノブイリ救援・中部 事務局から 1992.11.30 No.14

救援物資約1000万円相当、
ワクチン4万人分現地無事到着



到着したワクチンの引き渡し
(産婦人科小児科病院 '92.11.13)

到着したスタッフ (通訳2名とともに)

● 第14回目にあたる救援物資の輸送(総額1000万円相当)が無事行われ、心配していたワクチン(冷却保存)も引き渡しが完了しました。

今回は、最初の救援で坂東弘美さんと現地に行った渡辺春夫さん(送った医療機器の稼働チェックの担当)、長谷川三知子さん、横地隆子さん(どちらも医療の現状および被災家族の調査のため)、河野益近さん(今回送った食品放射能測定機の取り付けと指導のため)、そして東しげのさん(自費参加、文通先の学校を訪ねるため)の5名が参加して約10日間に渡って現地を訪れました。

今回のワクチンキャンペーンには、今日現在で429名の方から462万円が寄せられています。皆様の暖かい気持ちを少しでも充実した形で救援に実らせたいと思っています。ありがとうございました。師走のあわただしい中、ミルクキャンペーン、カードキャンペーンなども開始します。どうぞご協力ください。

今回現地へ届けたもの 送り先

はしかワクチン (10000人分)	ジトーミル市立産婦人科小児科病院
BCGワクチン (30000人分)	〃
注射器 (16000本)	〃
インタフェロン、抗生物質	ジトーミル保健省医薬供給センター
消毒薬	〃
抗アレルギー剤	〃
栄養剤	〃
超音波診断装置 3台 (郵政省交付金で購入)	ジトーミル州立総合病院ほか
食品用放射能測定機器一式	〃 疫学ステーション
その他、顕微鏡、注射器セット、雑貨など	

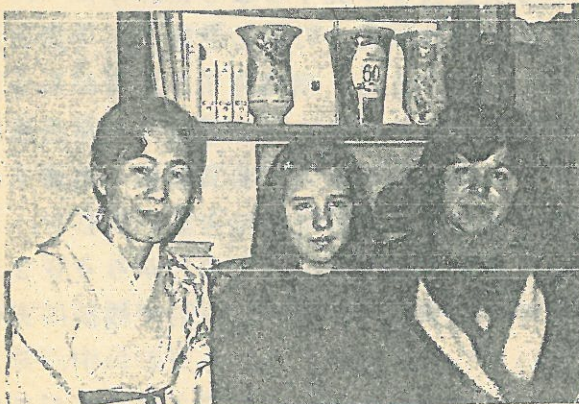
(合計：990万円)

○これまでに送った医療機器の稼働状況について

ジトーミルの州立子供病院、産婦人科小児科病院、総合病院にこれまでに届けた医療機器 (超音波診断装置、医療用空気清浄器、輸液ポンプなど) は、正常に稼働していました。コーラステン地域間診療センターの超音波診断装置は、据え付け用の部屋が設けられておりましたが、まだ梱包されている状態でした。この他の病院にも医療機器が送られています (超音波診断装置だけで合計 8 台)。残ったものについても現地と連絡を取り合い、消耗品の供給も続けていきます。

◆◆◆◆訪問記 あの人たちは今◆◆◆◆

原発技師の町プリピャチから避難し、ジトーミル市に移住したアヌーシカちゃん (絵はがき集またはテレカに収録) の一家を訪れました。アヌーシカちゃん (現在10才) の健康はあまり思わしくないと母親の話しでした。現在は日本の津山市の方と文通が続いているそうです。



写真：長谷川さん (代表)、アヌーシカちゃん、お母さん 当時の写真

92年末・ミルクキャンペーン

開始！！

いよいよ今年もミルクキャンペーンを始める頃になりました。下記の囲み部分にもありますように現地の乳製品は大変恐ろしい状況が続いているようです。放射能汚染されていないミルクを今年も送りたいと思います。どうぞ協力下さい。今年には長野県の伊那グループで担当します。

◎ 1口 1000円または2000円（粉ミルク一缶）で

振込先 郵便振替：名古屋8-108610 まで
口座名：チェルノブイリ救援・中部

またメッセージシールや振込用紙も各地の協力していただけるお家やお店に配置してあります。（チラシ裏面に掲載）

今回は、昨年よりもさらに増え東京、高知などでも扱っています。

（事務局注：粉ミルク33缶で赤ちゃんひとりの離乳期までをまかなえるそうです。前回は、粉ミルクとスキムミルク合計5.6トンを実地の「子供給食センター」などに届けました。）



未だに深刻なミルクの汚染 97,000 ベクレル/kg

今回食品放射能測定システムを届けたジトーミル州疫学ステーションでたまたま持ち込まれた生の牛乳の放射能を測定したところ1キログラムあたりなんと「97,000ベクレル」という非常に高い値であることがわかりました。また日本にもち帰った乾燥きのこも4,670ベクレル/kgでした。

（事務局注：ちなみに日本の輸入食品の制限基準は370ベクレル/kg）

ハートTOハート カードキャンペーンも

これも今年で3回目となったキャンペーン（同封チラシ）ですが、クリスマスカード、新年のカードなども岐阜グループが担当して12月20日（日）まで受け付けています。これまでに7700通あまりが皆様から寄せられ現地に送られています。

「国際女性フォーラム'92」開催

国際女性フォーラムが名古屋で開かれます。

救援・中部も一部屋をワークショップとして活動の様子を伝えるパネル展示などを行います。この日は、11月にワクチンを届けた際に持ち帰った民芸品なども販売する予定です。どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

日時：12月12日（土） 午前10時～午後4時30分

場所：名古屋市女性会館 地下鉄名城線「東別院」下車1番出口

TEL052-331-5288

昼食またはパーティへの参加者はそれぞれ500円必要。

（はしと湯呑み持参のこと）

託児あり。

パネル展、図書資料展については1日から20日まで連続開催中（17日除く）
この他当日は、基調講演、ビデオ放映、ワークショップ8グループ参加、
ちやっとパーティ、など盛り沢山。（女性だけのイベントではありません）

三輪弘美ソプラノ・リサイタルにおける入場制限の経過とお詫び

チェルノブイリ救援・中部の後援していた三輪弘美さんのリサイタルが、11月21日に行われ、この際入場制限がされました。

既に一部の新聞でご存知の方もいるかと思いますが、主催したリサイタル実行委員会の話によりますと定員1800人に対して売れ残りを見越して2300枚をプレイガイド等に配布していました。ところが予想を上回る人気のため販売ストップをかけた時点で既に1866枚が売れていました。さらに会場の芸術文化劇場側の規制方法のまずさから実際には1592人で入場が打ち切られたため、せっかくご来場くださった約300名の方々が入場できなくなりました。

チェルノブイリ救援・中部でも約428名の方にチケットを買っていただきましたが、販売をお手伝いして下さった方、ご来場くださった方々に大変ご迷惑、ご心配をおかけしました。深くお詫び申し上げます。また励ましのお電話も沢山いただきました。ありがとうございました。

心と心をつないで



写真 岐阜県神岡東小学校の3年1組の皆さん

(寄せられたお手紙の中から)

教室で呼びかけたところ、20名近くの子が家でも話し合い、賛同して募金しました。わずかではありますが、お役に立てたらと思います。

医薬物資が大変不足しているのですが、一人でも多くの子が貴い命を生き続けてくれることを切に願っています。がんばってください。

代表 林 義成先生

・・・私のクラスでは、10人の生徒の内、5人は鼻から血が出ます。放射能汚染地図に従えば、私達の村はセシウム135が1から5キュリーの間にあります。けれども子供は子供、遊ぶことが好きで、何があっても歌います・・・

(ニーナ 小学校教師)

あれから2年今も日本から交流を続けている学校の東しげの先生(金沢富樫小学校元担任教師)が、ニーナ先生の小学校を初めて訪ねました。小学校(マカレビッチ村)は、ジトーミルから約3時間、郷愁のあふれる校舎には校長先生を入れて8名全校生徒39名の可愛い学校でした。子供たちが、民族衣裳で踊りと歌で出迎えてくれました。



いつも文通のロシア語翻訳をしてくださる方から

拝啓 お手紙と「ボレーシェ」をお送りいただき、ありがとうございました。翻訳ができたのでお送りします。1つ自信がないのは、差し出し人の名前なのですが、ウクライナの特徴的な名前を詳しく知らないので、素直に読めるままを書きました。ウクライナ語に詳しい方にご確認いただければ幸いです。手紙の内容から厳しい生活の様子がうかがえるので心配になってしまいますが、チェルノブイリ救援・中部の活動がこれからも順調に進むよう応援しています。(東京都在住)

(国連訪問した朱宮裕子さんが持ち帰った資料から)

ダウン症、ピッカリング原発周辺で多発

～ 通常より86%上回る ～

トロント発(カナダ) カナダ当局の発表によるとピッカリング原発周辺の2つの地域でダウン症発症率が通常よりもはるかに高いことが分かった。

この発表によると子供の出生時の奇形出産にともなう死亡率や病気の度合いはほかのオンタリオ州と変わらないが、ダウン症については州平均を86%、アジャックス(原発がある場所)地方の平均を46%も上回る高い発症率であることが分かった。

これは、原発が稼働開始した1971年から1988年まで半径25キロの場所での先天的異常について原子力規制委員会へ提出のため調べた結果分かったもの。

調査では、出生異常に関する21の調査項目については増加の兆候を認められなかったと但し書きをつけながらもこのダウン症の高い発症率については「慎重に対処する必要がある」と結論づけた。(以下省略)

(報告: マーチン=ミッテルステッド 環境問題専門記者)

The Globe and Mail 1991年10月23日号から

アメリカのNGO紹介 “サマンサ・スミス センター”

サマンサ・スミスちゃんは、10才の時当時(1982年)ソ連の大統領ユリー・アンドロポフに平和を訴える手紙を書き、それがきっかけでソ連に招かれ一躍有名になりました。

しかし3年後飛行機事故でサマンサちゃんと父親が死亡し、その意志をついで母親のジェーンさんが、サマンサ・スミス基金を作り現在に至っています。基金は、米ソの若者の交流と教育を積極的に行っており、チェルノブイリ被災者の子供たちも昨年6月訪れ、サマーキャンプを楽しんでいます。



*** アメリカの生活専門誌（グリーンリビング）にはこんな広告が ***

EPA（米環境保護局）によると毎年アメリカではラドンガス（放射性）で2万人が死亡しています。（建物から発生する）お宅のラドンガスを調べて、心のやすらぎを。たった30ドルです。

...までお電話下さい。
ラドンリソースズ社
（EPA登録）

HAS YOUR HOME & WORKPLACE BEEN TESTED FOR RADON?

- According to the EPA up to 20,000 people die every year from the effects of radon gas.
- Many homes in our area have a radon problem.
- For as little as \$30, you can test your home or office and have peace of mind.

Protect your home and family.
Call: (800) 927-2366 or (603) 472-5955

Radon and Environmental Testing Services **RADON RESOURCES, INC.** EPA Listed

Looking for a Convenient Alternative to Disposable Diapers?



Cloth diapers are an excellent alternative to disposables. They are comfortable for the child, the cost is comparable to disposables, and you'll help make a better world for your baby by using a renewable resource and not adding to our solid waste disposal problems.

FJ's Bottom Line
Diaper Service
17 Rockingham St., Bellows Falls, VT 05101
•(800)628-3363•

使いすておむつに変わる快適なおむつを見直して見ませんか？

布おむつは、すぐれたおむつです。

値段も安く、リサイクル可能、ゴミ問題も解決。あなたの赤ちゃんによりよい環境を作ってあげられます。

FJ'S BOTTOM LINE社
（おむつサービス会社） バーモント

*** 知っていますか？ プルトニウム ***

～1グラムで40億人分の許容限量～

（以下、世界「特集プルトニウム大論争」1992.11月号より抜粋）

―― 放射能毒性の強さこそ、プルトニウムの特徴として強調される必要がある。吸いこまれたプルトニウムの粒子は肺や骨にたまり、長い時間にわたって放射線を内部から内部から放射しつづけて肺がんや白血病、骨肉腫を発生させる。プルトニウム1グラムは、およそ八千万人の職業人（原発労働者など）の年摂取限度に相当する。一般人の被曝の限度は職業人の50分の1とされているから、一般人では40億人分の許容限量である。

さらに厄介なのはプルトニウムの寿命の長さだ。放射性物質の寿命は、放射線を出しながら半分に減るまでの時間である「半減期」であらわされる。プルトニウム239では、この半減期は2万4100年と、気が遠くなるほどだ。――

事務局開設と維持会員入会のお願い

チェルノブイリ救援・中部では、今年3月に膨大な事務作業をこなすために事務局を開設しました。長期の救援を行うために皆様の維持会員を募っています。どうぞ維持会員に入会してください。

◎維持会員入会費 1,000円/月

(一年分まとめた場合 10,000円/年)

郵便振替口座：名古屋8-108610

(*通信欄に必ず維持会員申込みと記入して下さい)

お知らせとお願い

- ・この通信誌「ポレーシェ」の購読を募集中。毎回この通信誌でなければ知ることのできないニュース満載。隔月発刊で年千円です。
- ・被災地の家族や子供たちから届いた沢山の手紙や絵が「絵はがき集」になりました。1セット5枚で300円です。救援・中部まで直接お申込みください。
- ・事務局維持会員になって下さい!
- ・現地からチェルノブイリ特集英語版「CHERNOBYL HOSTAGES No.3」新着!500円
- ・チェルノブイリ救援・中部のテレフォンカード 一枚1000円50度数。
- ・現地ジャーナリストのネチポレンコさんおよび小児科医師ライサさんの来日講演録全文。専門家の解説つき 一部350円。
- ・「チェルノブイリからの107通の手紙・絵画展」展示物を貸し出し中。
問い合わせ先：(豊橋)自然食レストラン かきの木屋 tel:0532-53-4138
- ・「とどけウクライナへ 私たちの救援日誌」(板東弘美著 八月書館) 定価1648円 書店または救援・中部までご注文ください。
- ・救援物資を保管する倉庫、納戸、土蔵、などなどスペースを貸してください!
(期限つきで結構です)
- ・救援・中部の活動に理解、参加して下さる方募集中。

チェルノブイリ救援・中部(郵便振替口座 名古屋8-108610)

事務局 〒466 名古屋市昭和区楽園町137 楽園アパート1-10

TEL.FAX:052-836-1073 (月、水、金曜日10:00-15:00)

代表：長谷川三知子

(問い合わせはなるべく郵便で、できれば切手を添えた封筒を同封してください)